



(題字・葛西 聖司)

## 漫研監督のしごと

### 49年白門会副会長 宮川 保



名刺をお渡しすると、怪訝そうな面持ちで尋ねられることがある。「監督って……?」

そう、名刺の肩書きは監督——「中央大学漫画研究会監督」なのである。

そもそも中大漫研と私の付き合いは、二十数年前に遡る。当時、私は中大職員として学友会事務室に勤務していた。サークルの連中とも顔を合わせる機会が多い。その頃は、彼らとの年の差もあまりなく親しみもあったのか、多少なりとも頼りにされていたのだろう。いくつものサークルの幹部と仲が良くなった。その

一つが漫画研究会だったのだが、いかにせん勤め人、異動がある。安定した関係を求めて、前任顧問の定年を機に、その座につくことにした。

親の介護のため退職することになり、漫研との関係をどうするか考えた。部会長(公認団体となったため顧問から格上げ)は大学の教職員でないとなれないからだ。長年付き合い、OBたちとも親交が続いている。そんな漫研と別れたくない。そこで思いついたのが「公認団体には監督を置くことができる」との規約だ。早速、現役幹部と相談。総会を開いてもらって監督に就任した。

現在、監督歴は4年目。まだまだ新米監督だ。しごとは、作画やストーリーづくりの指導・監督、てなことはない。「少年ジャンプ」とともに育ってはきたが、絵も文もアイデア

も自信なんてありません。

我が中大漫研は、伝統的に結束力が強い。年2回発行の会誌『巻頭紳士』は28号を数え、年々ページ数を増やしている。学年毎に発行している『学年誌』も数多く出ている。コンパも新入生歓迎、前期終了、クリスマス、4年追い出しと続く。OBたちの花見の会も定例化していて、今年度は4月12日に開催、今回は久しぶりに現役組十数名も参加した。

### 部員増にうれしい悲鳴

4月25日には新入生歓迎コンパがあった。この新歓コンパ、なんと参加者が135人、うち新入生76人だった。思い起こせば、1989年以降の数年間、部員の数は悲惨だった。「M君事件」をきっかけに「有害コミック」排斥が叫ばれ、漫画好きは特別視され、オタクと指さされれば友達をなくす。そんな時代の風潮もあってか、部員は減少の道を辿り、総数で十数人だったこともある。昨年度の部員は約90人だったが、今年度は何人になるのだろうか。監督としては、実に喜ばしい限り。

えっ、監督が大変じゃないかって? それなら大丈夫。監督のしごととはコンパ出席だから。もちろん、監督っぽいことも少しはする。ちょっとした人間関係のトラブルに仲裁に入ったこともあるし、毎年11月の幹部(部長・編集長・会計・渉外等)交代の折には、自腹をきって小パーティを開く。

このしごとの最大の役得は、若い連中と共通の話題で話せること。アニメのこと、ゲームのこと、彼らから仕入れる情報は、いつだって新しい。彼らは、オタクという分類ができる以前からオタクであった私に、若返りの時間を提供してくれる。

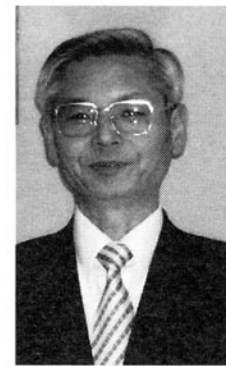
大学漫研の存在価値はプロの漫画家輩出にあるわけではないのだが、中大漫研出身の人気作家が幾人かいる。古くは「Dr.コトー診療所」の山田貴敏氏、最近では「魔法先生ネギま!」の赤松健氏が雑誌で活躍中だ。

近い将来、いまの部員が漫画家になり、作品がアニメ化、ゲーム化されたとき、言うだろう。「彼(彼女)の監督は、私だった」と。

# 友へのメッセージ

## 今、思ひこぼす

松平 守(経)



あれから2年。6年間の単身赴任生活から自宅通勤を始めて、ちょうど2年が過ぎました。いよいよ定年まであと3年余りとなりました。

「光陰矢のごとし」と申しますが、月日の経つのは本当に早いものです。人生80年の時代、これからの20年、30年をどう生き、如何に充実した日々を送れるか、真剣に考えなければなりません。

そんな矢先の今春「まさか」の単身赴任生活を始めることになりました。サラリーマン人生にはつきものの転勤、これも新しい出会いの始まり、充実した人生を送る為の一步と考えた。

活であり、食事も、その他不自由なく過ごすことができました。金婚月来、妻には、毎週月曜日の早朝、又ときには金曜日の深夜等、送迎に労をいとわず協力してもらい、感謝しています。

そして、この埼玉での6年間に、何よりも心に残ったことは、49年白門会に参加する機会に恵まれたことです。大学を卒業し、四半世紀が過ぎ、それぞれの分野で活躍されているみなさんと一堂に会することができ、非常に有意義なひと時を過ごすことができました。今後とも、できるだけ多く参加してゆきたいと思っています。

今回は、学生時代以来という自炊生活をするようになりました。時代はずいぶん健康に一番留意しなければならぬ年齢となりました。みなさん

ん、何かよい智慧がありましたら、ぜひお教えください。自炊生活を始めてまだ1ヶ月ですが、食生活にちよつぱり不安を感じているこの頃です。毎日帰りに立ち寄るスーパーで同じようなサラリーマン風の人を見かけるたびに、その姿に自分を重ね何か哀愁を感じています。

これからの長い道のりは決して平坦ではありません。いろんな「坂」が待ちうけていると思います。この単身生活で、いろんな出会いがあり、新たな発見があることを期待し、充実した日々が送れるよう願っています。

### 事業部掲示板

### ボウリング大会

昨年12月に忘年会を兼ねて実施した「ボウリング大会」を、今年も12月に行います。次のページに前回の報告があります。是非ご参加を!!

日時 12月6日(土) 15時(予定)  
場所 東京新宿ミラノボウル(予定)  
参加費 5千円(懇親会費を含む)

12月6日のみ確定です。詳細が決定しましたらメール等でお知らせします。メールアドレスを未登録の方は、1ページにお知らせしているアドレスにお申し込みください。

### 計報

橋本哲郎さん(理工)が、平成20年5月13日逝去されました。橋本さんは事業部員として会の活動に参加し、HPの写真撮影に力を発揮されました。会報の9・10号に文章が掲載されています。ご冥福を心よりお祈り申しあげます。

### 2008年度 総会のお知らせ

「49年白門会」の2008年度の総会が開かれます。

今回の総会では役員の変更や「留学生と学生との集い」に関連した年次支部協議会とのこれからの関係などの説明があります。

総会終了後、懇親会もあります。会員の皆様のご出席をお待ちしております。

日時・平成20年7月5日(土)  
午後3時～7時半(お受け付け)  
場所・中央大学理工学部校舎  
(東京都文京区春日1-13-27)

懇親会・午後4時～6時。同校舎  
会費は5千円です。

### 「49年白門会」役員 立候補者募集

2008年度の総会は役員の変更期です。役員(会長、副会長、幹事長、副幹事長、会計監事)に立候補しようとする人は、6月21日(土)までに、書面で左記の選挙管理委員長までに申し出て下さい。

宛先・東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学駿河台記念館学員本部事務局内「49年白門会」宮川保

### 山崎司平法律事務所

第二東京弁護士会所属  
日本弁護士国民年金基金常務理事  
中大法学部非常勤講師

辯護士 山崎 司平

東京都中央区銀座3丁目10番9号 共同ビル6階  
電話 03-3546-0281 FAX 03-3546-0280

### 主要取扱申請書類等

- ◇ 建設業・工事入札・産廃業・宅建業
- ◇ 風俗営業・会社設立・会計帳簿作成
- ◇ 外国人在留手続・帰化・国際結婚
- ◇ 遺言書作成・遺産分割協議書作成

法律相談 申請書類作成 提出手続代行  
行政書士 増田勝美 電話 03-3491-9880

# ストライイックでスツキリ!! ボウリング大会

2007年12月8日

小春日和の12月8日(土)、49年白門会の会員が東京・新宿歌舞伎町のど真ん中・新宿ミラノボウルに集合。高校・大学時代に流行したボウリングをやるというわけだ。

同期会の結成8年目にして、初めてのスポーツイベント。果たして何人集まるか少々不安だったが、奥さんを同伴しての会員もいて13名が集まった。

年齢は56歳から58歳。4レーンを90分間貸切で2ゲームの勝負を争う



た。土曜の午後なのに、思ったより場内は混んでいた。周りのレーンは20代のヤング集団で、1投ごとに歓声と拍手が起る状態。3時スタートの我らグループも、負けじと1投ごとに歓声が沸きあがる。

「15年前にやった以来だよ」「明日腰が痛くなりそう」「女房に負けそうだ」「あと10センチ右だー」とかぼやきながらも、ストライクやスペアを取った時のガッツポーズ、ガターになった時の「オーマイガッ」のポーズなど、30年前の童心に戻った90分だった。

学生時代と違って、採点、投球順番など全部機械がやってくれるし、投球した球速まで掲示される。周りのヤング集団は球速40キロとか表示され、ゴッ、ガーンとピンが倒れる衝撃音も大きく派手だが、我々の球速はせいぜい30キロ。20キロでのストライクなど、ボールが当たってから、ピンがよろよろとして音も無く倒れ、最後のピンが倒れるまで数秒かかる有様。

それでもスコアを見ると、ヤング集団は100点前後が大半。我ら50代後半組は1ゲーム目こそ余裕だった人も2、3名いたが、2ゲーム目は全員100点以上。優勝者は平均153点という高得点を挙げた大竹力三さん。最高得点は、1ゲーム

## 楽<sup>ら</sup>苦<sup>く</sup>我<sup>が</sup>喜<sup>き</sup>千葉<sup>ちや</sup>幸嗣<sup>きんじ</sup>(商)

「千葉さん、若く見えませぬ」取引先のご同輩の人から声をかけられた。そう声をかけられ、自分は若く見られるんだな、と内心嬉しくもあり、反面年齢相応の貫禄がないのかと複雑な気持ちになった。

おばさん方は年齢より若く見られると相当嬉しがるものだが、小学生もこの歳で若く見てくれるのは嬉しいのだが、「若く見えませぬ」という言葉の中に「まだ青一才ですな」あるいは「キャリア不足ですな」といった意味合いが込められているのではないかと気になった。まあ、そんなことはどうだっていい。若者の世界では、おバカキャラが受けている時代なのだから。

実は取引先の人と言った「千葉さん、若く見えませぬ」の中味は「千葉さんは、髪の毛が多いので若く見えませぬ」ということだった。相手の人は確かに俳優の温水洋一さんのような髪の毛である。五十代後半のご同輩から見れば髪の毛が多いことは羨ましかったのだろう。

髪の毛が多いのも厄介だ。多いなりの悩みもある。小生の場合、髪の毛のボリュームに加え一本一本の髪がハリネズミのように硬いのだ。所謂、床屋泣かせで整髪がなかなか決まらないのである。床屋に行く度にカット以外に毛を剃きまくり、ハリネズミのような髪を電気ゴテで七三分けに寝かせて行く。それも馴染みの床屋でないと注文どおりには行かない。いっそのこと丸坊主になった方が楽なのだが、ヤクザっぽい風貌になってしまう。若い時代にパンチパーマをかけたこともあったが上司から注意され、それ以来悪戦苦闘しながら七三分けに徹して来た。

鏡の前に立ち、ブラシとドライヤーを持って、ハリネズミのような髪の間からひよろひよろ無数に伸びて来た白髪を、必死で撫で付けている自分の姿を見ながら自問自答してみた。「俺は若いのかな」

目が98点だった山崎司平さんが2ゲーム目に出した158点。30数年前に出ればまだ4時半。歌舞伎町に向かってくる集団に逆らいながら、新宿駅近くの居酒屋で、懇親会のみ参加の3名も加わり2時間の楽しいひと時を過ごしました。(広報部)

### 第19回中央大学ホームカミングデー

開催日 平成20年10月26日(日)  
午前9時45分(開場)~午後4時  
会場 中央大学 多摩キャンパス

開催時間は10時~16時(予定)。演奏会、応援部演技、トークショー、模擬店、施設見学会、茶席、寄席、福引抽選会等、盛りだくさんの企画があります。49年会の旗の下に是非ともお集まりください。

歌舞伎、映画、落語などから心に残るセリフを語る。

## ことばの切っ先 心にせまるセリフ

葛西聖司(NHKアナウンサー)著 菊地ひと美 絵  
古典芸能番組に携わってきた著者が、虚構の世界で語られるセリフの魅力を解き明かす。



小学館 ●定価1,890円(税込) 好評発売中!

4-09-387646-0



# 今年もオークション

新年会 2008年  
1月26日(土)

例年通り、1月の最終土曜日は、49年白門会の新年会。いつもの「銀座Sum-mi高松」でにぎやかに始まった。いつもと同じお店だが今回は和室。靴を脱いでの立食というちょっと変わった会場だった。料理もおでんが出てきたりこれまた変わった取り合わせだった。

名古屋や新潟の遠方からの参加者もあり、30名が集まった。ワイン、ビール、日本酒、焼酎とお酒もタップリ、料理も和・洋・中と盛りだくさん。話題は健康のことや子供のことで。既に孫もいる人もいたり、話題には事欠かない。

今年も「オークション」をやるということで、19名から36点の品物が出品された。

## 編集 後記

### 「先」はもうすぐ 来ます...

された品物は、海苔の詰め合わせ、テレカ、コシヒカリなどから、変わったものでは福原愛ちゃんのサイン入り卓球ラケット、競馬のジョッキーフ、中大落研CDなどが出品された。

昨年の経験からか、じっくり品定めをする人や、安い金額で落札を狙う人など、一品一品にそれぞれの思惑が入り、楽しいオークションになった。3000円の携帯ストラップから50000円のバッグまで完売し合計653000円の売り上げになった。この金額は昨年同様中大125周年記念の寄付金として49年会の名で寄付された。2次会には18名が参加した。(広報部)

## 皆様の「留学生と学員との集い」 49年会支部長 山崎厚太

現在年次支部協議会の下、各年次が持ち回りで、「留学生と学員との集い」という会を毎年一回開いています。

幹事支部の負担となります。その他、支援要員として、幹事支部、副幹事支部の2年間にわたり、30名以上の会員の動員を必要とします。

これは、各年次が持ち回りで副幹事と幹事と2年間にわたり行い、今年には43会が幹事、44会が副幹事です。資金負担は毎年5万円の分担金と、幹事、副幹事になった時は、幹事支部30万円、副幹事支部10万円の寄付です。更に幹事の年の「留学生の集い」の予算がオーバーした時は全額

当支部では、このまま資金負担を続けられ、会の財政は破綻し、支援要員の動員も明らかに不可能なものにつき、2年前より、幹事会で協議し、総会でも経緯を報告してまいりましたが、今回、別添の当支部の見解を年次支部協議会今年度幹事宛送

古い友人が早めのリタイヤをして、海外に移住すると言いついて、あつと言つ間にマレーシアに行つてしまった。子供の将来を考えてが大きな理由とはしてはいるが、残りの人生を緻密に計算しての決断だったようである。移住する国では働いてはいけないのだそう。語学の勉強をしたり、ボランティア活動をしたりして過ごすのだという。

この友人の話は、自分の年齢を改めて意識することになる出来事だった。定年を目前にして我々の年代もバタバタして来たものだと思いつつも、自分自身が余りにも「先」のことについて何も考えていなかったのかとつくづく知らされた感がある。手の届くところにある「先」は誰もが必ず通らなければならぬ訳で、この現実には謙虚に先人に学ぶことに

## 会費の納入についてのお願い

49年白門会は会費によって運営されています。未納入の方は、是非、会費を納めてくださるようお願いいたします。

年会費3,000円、入会金1,000円です。

なお納入方法は、下のいずれかをお選びください。

- ①郵便振替 (手数料は不要です)  
振替口座番号「00180-3-196081」  
口座名称 「49年白門会」
- ②銀行振込 (振込手数料が必要です)  
銀行名 三菱東京UFJ銀行日野市役所支店 普通預金「0569115」  
口座名 49年白門会 代表 山崎厚太

## 49年白門会連絡先・事務局

※住所・勤務先変更、新規会員紹介、お問い合わせ等、何でもご連絡ください。

※年2回発行するこの会報へ、広告の出稿、詩、俳句、エッセー等の原稿、企画案、ご意見をお寄せください。

49年白門会幹事長 中島章夫  
東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学学員会事務局  
電話 03-3219-6175 FAX 03-3219-6177

※メールアドレスの登録・変更は  
hakumon@gray.plala.or.jp にご連絡ください。

## 原稿募集

次号掲載の「会員からのエッセー」では「私の健康法」というテーマで、皆様からの原稿を募集します。

メタボ、更年期、ウツ、ボケ等我々の年代の話の中心は「病気」。人生80年の時代を迎え、皆様の健康に関する効果のある(?)お話を紹介してください。400字前後でお書きになって、事務局までにお送りください。締切りは10月末日です。広報部から直接、手紙やメールで依頼することもありますが、ご協力お願いいたします。